Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
(1月1日〜1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンサービスセンター

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J188-010

PRINTED IN CHINA

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot A620/A610 カメラユーザーガイド 応用編

Canon

CDI-J188

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A620
PowerShot A610

応用編



カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DiG!C II PictBridge DIRECT PRINT BUBBLE JET DIRECT Exif Print DPOF CERTIFIED HI-SPEED USB CANON iMAGE GATEWAY

主な特長

撮影

- シーンに合わせて撮影条件を自動設定
- SI センサーでカメラの縦横位置を自動的に判別
- 画像の色味を変化させて撮影（マイカラーモード）
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを装着して撮影



再生

- 音声つき動画再生
- オートプレイ機能で自動再生

編集

- 静止画に音声メモを記録
- 動画を編集

印刷

- イージーダイレクトボタンでかんたんに印刷
- キヤノン製以外のプリンター（PictBridge 対応）でも印刷

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンでかんたんにパソコンへ転送
- マイカメラ機能で、カメラの起動画面や起動音を、自在にカスタマイズ
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について

見出しの下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。

セルフタイマーで撮る

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

- 各撮影モードで設定できる機能は、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」をご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD *メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらを、メモリーカードと表記します。

*SD=Secure Digital （著作権保護システム）の略

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売）、コンパクトパワーアダプター（別売）

⚠警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠警告

本機器

●カメラで太陽や強い光源を直接見ないでください。

視力障害の原因となります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外すか、バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災や感電の原因となります。

電池

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外の電池を使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●キヤノン製の単3形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●コンパクトパワーアダプターの出力端子は本カメラ専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

●別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、電池を取り出し､保存してください。

カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後､発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

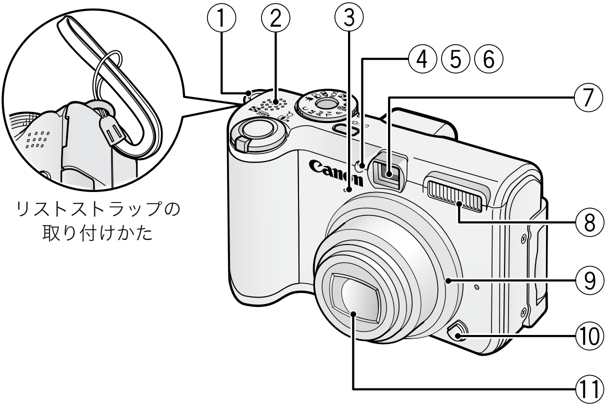
結露が発生したときは

●カメラを使用しないでください。

故障の原因になります。
カメラを使う場合は、メモリーカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってください。

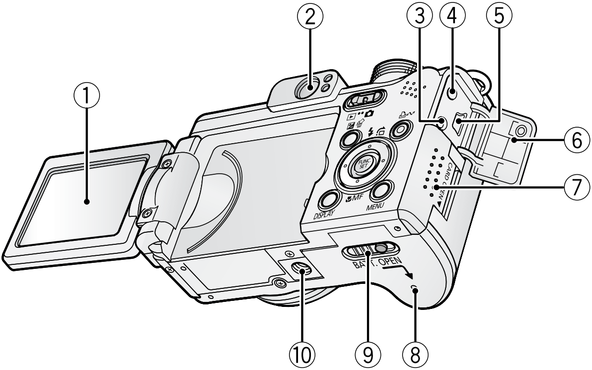
ご使用の前に - 各部の名称

前面



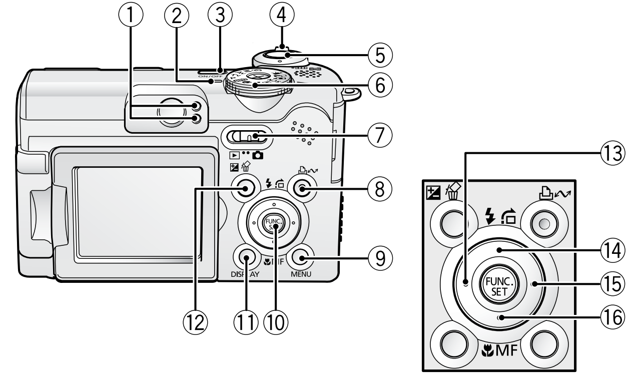
①リストストラップ取り付け部
②スピーカー
③マイク（p. 75）
④AF 補助光投光部（p. 24）
⑤赤目緩和ランプ（基本編 p. 9）
⑥セルフタイマーランプ（p. 35）
⑦ファインダー窓（p. 19）
⑧ストロボ（基本編 p. 8）
⑨リング
⑩リング取り外しボタン
⑪レンズ

背面



①液晶モニター（p. 15、基本編 p. 3）
②ファインダー接眼部（p. 19）
③A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（p. 84）
④DC IN（電源入力）端子（p. 106）
⑤DIGITAL（デジタル）端子（基本編 p. 19）
⑥端子カバー
⑦メモリーカードスロットカバー（基本編 p. 1）
⑧バッテリーカバー（基本編 p. 1）
⑨バッテリーカバー開放スイッチ（基本編 p. 1）
⑩三脚ねじ穴

操作部



①ランプ（p. 20）
②電源ランプ
③電源スイッチ（基本編 p. 5）
④ズームレバー（p. 68、基本編 p. 8）
撮影時：（広角）/（望遠）
再生時：（インデックス）/（拡大）
⑤シャッターボタン（基本編 p. 5）
⑥撮影モードダイヤル（基本編 p. 6）
⑦モードスイッチ
⑧（イージーダイレクト）ボタン（基本編 p. 14）
⑨MENU（メニュー）ボタン（p. 23）
⑩FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p. 22）
⑪DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（p. 15）
⑫（露出）/（1 画像消去）ボタン（p. 52、基本編 p. 11）
⑬ ←ボタン
⑭（ストロボ）/（ジャンプ）/ ↑ ボタン（p. 70、基本編 p. 8）
⑮ →ボタン
⑯（マクロ）/ MF（マニュアルフォーカス）/ ↓ ボタン
（p. 47、基本編 p. 9）

液晶モニターの使いかた

1 ○ (DISPLAY) を押す

- DISPLAYボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

撮影モードのとき（📷）

液晶モニター表示（情報表示なし）
↓
液晶モニター表示（情報表示あり）
↓
液晶モニター非表示

再生モードのとき（▶）

簡易表示
↓
詳細表示
↓
情報表示なし

- 撮影モード時にストロボなどの設定を変更したときは、上記設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- 、、 のとき、液晶モニターは消せません。
- インデックス再生時（p. 69）は、詳細表示に切り換わりません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

*液晶モニターに表示される被写体の動きがややぎこちなくなったり、ノイズが表示されることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

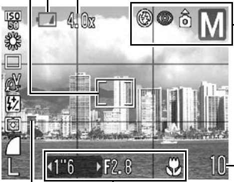
液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

[ ]*スポット測光枠（p. 51） | □AF 枠（p. 44）

*バッテリー残量低下（p. 100）

ズーム倍率*（p. 31）



グリッドライン*（p. 25）

ストロボ（基本編 p. 8）

赤目緩和（基本編 p. 8）

縦横自動回転（p. 66）

●（赤）*動画撮影（p. 37）

撮影モード
（基本編 p. 6 ～ 7）
（p. 56） （p. 39）
* * * *（p. 37）
P Tv Av M C（p. 40～43、65）

・静止画：記録可能画像数
・動画（秒数）：記録可能時間 / 記録時間

ISO 感度（p. 62）

ホワイトバランス（p. 53）

撮影方法（p. 32、35）

色効果（p. 55）

マイカラー（p. 56）

ストロボ調光補正 / ストロボ発光量（p. 63）

測光方式（p. 50）

圧縮率（静止画）（p. 30）

フレームレート（動画）（p. 31）

記録画素数（p. 29、31）

シャッタースピード*（p. 41）

絞り数値*（p. 42）

-2 … +2 * 露出補正（p. 52）

* マクロモード（基本編 p. 9）

MF *
マニュアルフォーカス（p. 47）

* AE ロック（p. 48）

* FE ロック（p. 50）

MF * AF ロック（p. 46）

（赤）*
手ぶれ警告（p. 17）

*情報表示なしのときも表示されます。

ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（ ）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ISO 感度を上げるか（p. 62）、ストロボを （発光禁止）以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください。

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

WAVE 形式の音声（p. 75）



フォルダ番号 - 画像番号

撮影日時

プロテクト情報（p. 77）

圧縮率（静止画）（p. 30）

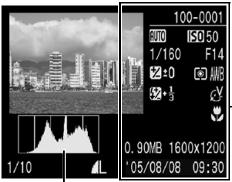
L M1 M2 M3 S
記録画素数（静止画）（p. 29）

AVI
動画（p. 37）

総画像数

再生画像番号

■詳細表示



ヒストグラム

撮影モード
(基本編 p. 6 ～ 7)
(p. 56) (p. 39) * (p. 37)
P Tv Av M (p. 40 ～ 43)

ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400
ISO 感度（p. 62）

シャッタースピード（p. 41）

640 320 160 L60 L30 L15 記録画素数 / フレームレート（動画）（p. 31）

絞り数値（p. 42）

-2 … +2
露出補正（p. 52）

測光方式（p. 50）

AWB
ホワイトバランス（p. 53）

-2 … +2
ストロボ調光補正（p. 63）

ストロボ発光量（p. 63）

V N LS S BW
色効果（p. 55）

P L D B G R A S C
マイカラー（p. 56）

MF マニュアルフォーカス（p. 47）

マクロモード（基本編 p. 9）

ファイルサイズ

記録画素数（静止画）（p. 29）
記録時間（動画）（p. 37）

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

♪?	WAVE ファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
!	DCF（p. 116）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します(p. 52)。

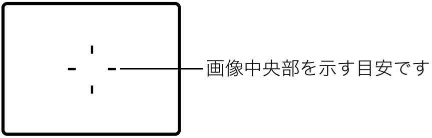
ヒストグラム例



暗い画像　　普通の明るさの画像　　明るい画像

ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし（p. 15）、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。



ファインダー

ランプの点灯/点滅について

電源スイッチまたはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

> ランプ点灯中は、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
> - 振動や、衝撃を与える
> - 電源を切ったり、メモリーカードスロットカバーやバッテリーカバーを開ける

- **上側のランプ**
  - **緑点灯**： 撮影準備完了
  - **緑点滅**： 画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）
  - **橙点灯**： 撮影準備完了（ストロボ発光）
  - **橙点滅**： 撮影準備完了（手ぶれ警告）
- **下側のランプ**
  - **黄点灯**： マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影/AFロック撮影
  - **黄点滅**： ピントが合いにくいとき（電子音が1回鳴ります）。

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約3分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます。）
再生時 プリンター接続時	約5分間、カメラの操作を何もしないとき

*時間を変更できます。

- オートプレイで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 26）。

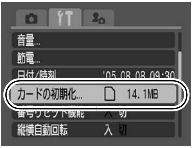
メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて削除したいときは、メモリーカードを初期化します。

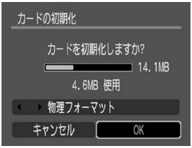
初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 **(設定)メニュー▶[カードの初期化]**

メニュー操作（p. 23）



2 **[OK]を選び、FUNC./SET を押す**



- 物理フォーマットをする場合は、▲ボタンで［物理フォーマット］を選び、◀/▶ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にFUNC./SETボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いいただけますが、データはすべて消去されます。

物理フォーマットについて
メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 〜 3 分かかる場合があります。

メニューの表示と設定のしかた

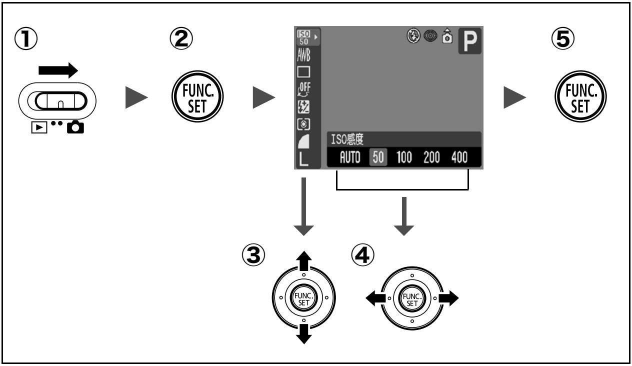
撮影時や再生時の設定や、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

● FUNC. メニュー

● 撮影 / 再生 / 設定 / マイカメラメニュー

FUNC. メニュー

よく使う撮影時の機能を設定します。



①撮影モードにする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

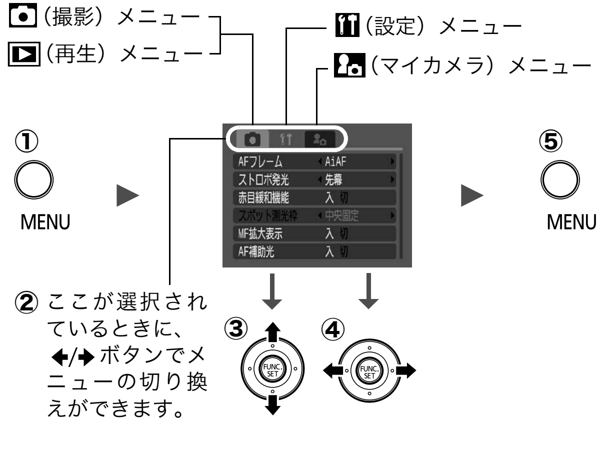
④ ◀/▶ ボタンで設定内容を選ぶ

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

撮影 / 再生 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生時の便利な機能を設定します。



・撮影時のメニュー例です。
・再生時は、再生メニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニュー切り換えができます。

③ ↑/↓ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ ボタンで設定内容を選ぶ

・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目	参照先	項目	参照先
ISO 感度	p. 62	測光方式	p. 50
ホワイトバランス	p. 53	圧縮率	p. 30
撮影方法	p. 32、35	フレームレート（動画）	p. 31
色効果	p. 55	記録画素数（静止画）	p. 29
マイカラー	p. 56	記録画素数（動画）	p. 31
ストロボ調光補正/発光量	p. 63		

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AF フレーム	AiAF ＊ / 中央 / アクティブ	p. 44
ストロボ発光	先幕＊ / 後幕	p. 64
ストロボ自動調光	入＊ / 切	p. 62
スローシンクロ	入 / 切＊	基本編 p. 9
赤目緩和機能	入＊ / 切	基本編 p. 8
スポット測光枠	中央固定＊ /AF 枠連動	p. 51
セーフティシフト	入 / 切＊	p. 43
MF 拡大表示	入＊ / 切	p. 47
AF 補助光	入＊ / 切	ー
デジタルズーム	入 / 切＊	p. 31
撮影の確認	切 /2 ＊～ 10 秒 / ホールド	基本編 p. 6
オリジナル保存	入 / 切＊	p. 58
鏡像表示	入＊ / 切	基本編 p. 3

項目	選択項目	内容 / 参照先
グリッドライン	入 / 切*	被写体の水平や垂直を確認するグリッドライン（9 分割）を表示でき、構図が決めやすくなります。なお、グリッドラインは画像には記録されません。
日付写し込み	切* / 日付のみ / 日付 + 時刻	p. 34
カスタム登録	―	p. 65

再生メニュー

項目	参照先	項目	参照先
プロテクト	p. 77	オートプレイ	p. 76
回転	p. 74	印刷指定	p. 79
音声メモ	p. 75	送信指定	p. 82
全消去	p. 78		

設定メニュー

*初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切*	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を一度に消すときは［入］に設定します。ただし、警告音は［入］でも鳴ります（基本編 p. 5）。
音量	切 1 2* 3 4 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、［消音］が［入］になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。

項目	選択項目	内容 / 参照先
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、または音声メモの音量を調節します。
節電		p. 20
オートパワーオフ	入* / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
日付 / 時刻		基本編 p. 4
カードの初期化		p. 21
番号リセット機能	入 / 切*	p. 67
縦横自動回転	入* / 切	p. 66
距離表示	m/cm * /ft/in	MF インジケーターの距離表示の単位を設定します（p. 47）。
言語		基本編 p. 4
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p. 111
初期設定		p. 28

マイカメラメニュー

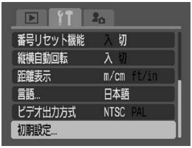
*初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	p. 85
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の 2 秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます（動画撮影時には鳴りません）。	
設定内容	（切） / 1 * / 2 / 3	

設定を初期状態に戻す

1 **(設定)メニュー▶［初期設定］**

メニュー操作（p. 23）



2 **［OK］を選び、FUNC. SET を押す**

- カメラが撮影モードで、撮影モードダイヤルが C のときは、C に登録してある設定のみ初期設定に戻ります。
  それ以外のときは、C の内容は初期化されません。
- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［ (設定)］メニューの［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p. 26）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p. 54）
  - マイカラーの［ワンポイントカラー］（p. 58）と［スイッチカラー］（p. 59）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p. 85）

記録画素数と圧縮率を変更する（静止画）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

1 FUNC.メニュー ▶ L＊（記録画素数）/ ＊（圧縮率）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで記録画素数 / 圧縮率を選び、FUNC./SETボタンを押します。



記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数 PowerShot A620		記録画素数 PowerShot A610			用途
L ラージ	3072 × 2304 画素	ー		大きい ↑	A3 サイズを印刷するとき
M1 ミドル 1	2592 × 1944 画素	L ラージ	2592 × 1944 画素		A4 サイズ以上を印刷するとき
M2 ミドル 2	2048 × 1536 画素	M1 ミドル 1	2048 × 1536 画素		A4 サイズまでを印刷するとき
M3 ミドル 3	1600 × 1200 画素	M2 ミドル 2	1600 × 1200 画素		L 判やはがきサイズを印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素			↓ 小さい	電子メールで画像を送るときや、より多くの画像を撮影するとき
L 判印刷	1600 × 1200 画素			L 判で印刷するとき（p. 33）	

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1画像の容量（目安）（p. 120）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)(p. 118)

記録画素数とフレームレートを変更する(動画)

撮影モード

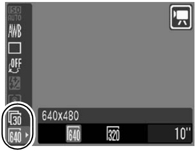
動画撮影モードが、(スタンダード)または(マイカラー) (p. 37)のとき、記録画素数 / フレームレートを変更できます。

1 **FUNC. メニュー▶ *(記録画素数)/ *(フレームレート)**

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ←/→ボタンで記録画素数 / フレームレートを選び、FUNC./SETボタンを押します。



記録画素数とフレームレートについて

	記録画素数	フレームレート		
		60 フレーム / 秒	30 フレーム / 秒	15 フレーム / 秒
スタンダード	640 × 480 画素	ー	○	○
マイカラー	320 × 240 画素	ー	○	○
スムーズ	320 × 240 画素	○	ー	ー
ライト	160 × 120 画素	ー	ー	○

*フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

* 、 では、記録画素数およびフレームレートが固定になります。

- 1 画像の容量（目安）（p. 120）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)(p. 118)

デジタルズームで撮る

撮影モード AUTO SCN ( ) P Tv Av M

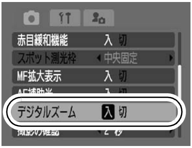
光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。

- 静止画：最大約 16 倍
- 動画（スタンダード）：最大約 16 倍

液晶モニターが消えているときは、デジタルズームは使えません。

1 **(撮影)メニュー▶[デジタルズーム]▶[入]**

メニュー操作（p. 23）



2 ズームレバーを[🌲]側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します（静止画撮影時）。再度[🌲]側へ押すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- [🌲🌲🌲]側へ押すと、倍率が下がります。

デジタルズームは、拡大すると画像が粗くなります。

連続して撮る

撮影モード SCN P Tv Av M

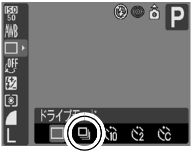
シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p. 118）。

***推奨メモリーカード：**
物理フォーマット（p. 21）直後の超高速の SDC-512MSH（別売）
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 FUNC.メニュー ▶ [□]*(ドライブモード) ▶ [連続]

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 で [□] を表示する

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

L判印刷モードに設定する

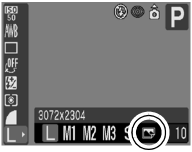
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

液晶モニターで印刷範囲（縦横比　約 3：2）を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 FUNC.メニュー ▶ L *（記録画素数）▶ （L判印刷）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



- L判印刷の記録画素数と圧縮率

	PowerShot A620	PowerShot A610
記録画素数	M3（1600 × 1200）	M2（1600 × 1200）
圧縮率	（ファイン）	（ファイン）

- シャッターボタンを半押しすると、印刷されない領域がグレーになります。

デジタルズームは使用できません。

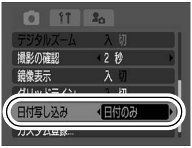
印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

（L 判印刷）のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 **（撮影）メニュー▶[日付写し込み]▶[日付のみ]/[日付＋時刻]**

メニュー操作（p. 23）



- 液晶モニターの表示
  - ：［切］
  - ：［日付のみ］／［日付+時刻］

- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください（p. 26）。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

セルフタイマーで撮る

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

シャッターボタンを押してから、10 秒後（）、2 秒後（）、または撮影の開始時間や撮影枚数を設定（：カスタム）して撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ *（ドライブモード）▶ / /

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



- ：撮影の 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
- ：シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴り、2秒後に撮影されます。
- ：開始時間（0～10、15、20、30 秒）や撮影枚数（1～10枚）を変更できます（p. 36）。ただし、、、 では設定できません。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和の場合は2 秒前から点灯）します。

解除のしかた：手順 1 で、 を表示する

セルフタイマー音を変更する（p. 27）

撮影開始時間と撮影枚数を変更する（Ⓒ）

1 Ⓒ ▶ ○ MENU

メニュー操作（p. 22）



2 **▲/▼ボタンで[時間]/[枚数]を選び、◀/▶ボタンで設定を変更する**



- セルフタイマー音は、次のようになります。
  - 時間を設定したときは、撮影の２秒前から鳴り始めます。
  - ［枚数］で複数画像を設定した場合、1画像目の撮影時のみ鳴ります。

［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

動画を撮る

撮影モード

動画撮影には、次の 4 つのモードがあります。

スタンダード	
	記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。 また、撮影中にデジタルズームが使えます（p. 31）。
	・記録画素数：[(640 × 480)]、[(320 × 240)] ・フレームレート：[(30フレーム/秒)]、[(15フレーム/秒)] ・1 回の最大記録容量：1GB
スムーズ	
	スポーツなどの速い動きの撮影に使います。
	・記録画素数：[(320 × 240)] ・フレームレート：[(60 フレーム / 秒)] ・1 回の最長記録時間：1 分
ライト	
	記録画素数が小さいため容量が少なく、メールに添付したり、メモリーカードの容量が少ないときなどに使うと便利です。
	・記録画素数：[(160 × 120)] ・フレームレート：[(15 フレーム / 秒)] ・1 回の最長記録時間：3 分
マイカラー	
	画像の色味を変化させて撮影できます（p. 56）。 スタンダードと同様に、記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。
	・記録画素数：[(640 × 480)]、[(320 × 240)] ・フレームレート：[(30フレーム/秒)]、[(15フレーム/秒)] ・1 回の最大記録容量：1GB

● 撮影時間は、お使いのメモリーカードによって異なります（p. 118）。

1 ←/→ ボタンで動画撮影モードを選ぶ

● 、の場合は、記録画素数やフレームレートを変更できます（p. 30）。



2 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
- シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影秒数と［●録画］が表示されます。
- 再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間が経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき

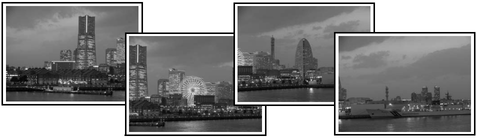
- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 21）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイクに触れないようにしてください。
  - シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。

動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0 以上が必要です（付属の Canon Digital Camera Solution Disk には、Windows 版の QuickTime が収められています。なお、Mac OS X 以降には標準装備されています)。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影モード

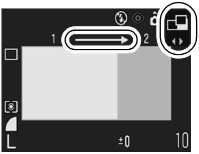
スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。





複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 ←/→ ボタンで撮影方向を選ぶ



- 次の2つの方向が選べます。
  - →左から右方向へ水平に撮影します。
  - ←右から左方向へ水平に撮影します。

2 最初の画像を撮影する



- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- ←/→ ボタンを押すと、1つ前の撮影済み画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大26画像まで撮影できます。
- 最後の撮影後、FUNC./SETボタンを押します。

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。
- ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。
  - 露出補正 / 撮影方向の選択

P プログラムAEで撮る

撮影モード P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られない場合、シャッターボタンを半押ししたときに、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
  - ストロボを使用する
  - ISO 感度を変更する
  - 測光方式を変更する

- 絞り数値とシャッタースピードについて（p. 41）
- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 49）。

Tv シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード **Tv**

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、←/→ ボタンでシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラは、シャッタースピードが 1.3 秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは次のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード（秒）
ワイド端	F2.8 ～ 3.2	15 ～ 1/1250
	F3.5 ～ 4.0	15 ～ 1/1600
	F4.5	15 ～ 1/2000
	F5.0 ～ 8.0 ＊[1]	15 ～ 1/2500
テレ端	F4.1 ～ 4.5	15 ～ 1/1250
	F5.0 ～ 6.3	15 ～ 1/1600
	F7.1 ～ 8.0 ＊[2]	15 ～ 1/2500

＊[1] AUTO では、撮影状況によっては、ワイド端で F11 まで設定される場合があります。
＊[2] AUTO では、撮影状況によっては、テレ端で F16 まで設定される場合があります。

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です。1/500 秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に 1/500 秒に再設定され、撮影されます。

シャッタースピードの表示

- 以下のシャッタースピードに設定できます。1/160 は 1/160 秒を表します。また、0"3 は 0.3 秒を、2" は 2 秒を表しています。

15" 13" 10" 8" 6" 5" 4" 3"2 2"5 2" 1"6 1"3 1" 0"8 0"6 0"5 0"4 0"3 1/4 1/5 1/6 1/8 1/10 1/13 1/15 1/20 1/25 1/30 1/40 1/50 1/60 1/80 1/100 1/125 1/160 1/200 1/250 1/320 1/400 1/500 1/640 1/800 1/1000 1/1250 1/1600 1/2000 1/2500

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 49）。

Av 絞りを決めて撮る

撮影モード Av

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調整するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

- シャッタースピードが赤字で表示されるときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、←/→ ボタンで絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります（p. 41）。

ストロボ同調シャッタースピードは、1/60 ～ 1/500 秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

F2.8 F3.2 F3.5 F4.0 F4.1 F4.5 F5.0 F5.6 F6.3 F7.1 F8.0 *

＊ AUTO では、撮影状況によっては、ワイド端で F11、テレ端で F16 まで設定される場合があります。

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 49）。

セーフティシフト

Tv、**Av** のとき、撮影メニューの［セーフティシフト］を［入］にすれば、適正露出を得られない場合でも、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値を調整して、適正露出で撮影できます。ストロボ発光時は機能しません。

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

撮影モード **M**

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。

- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±２段を超えると、液晶モニターに、「－２」または「＋２」と赤字で表示されます。

*設定されている測光方式をもとに測光を行って、標準露出を算出します。

- 露出を変更したい場合は、±ボタンでシャッタースピードか絞り数値を選び、←/→ ボタンで数値を変更してください。
- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じた絞り数値に変更される場合があります。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や、被写体が暗い場合、ストロボを⚡◎（常時発光（赤目緩和））または⚡（常時発光）にすると、常に明るく表示されます。
- 絞り数値とシャッタースピードの関係について（p. 41）

AF枠を選択する

撮影モード SCN P Tv Av M

オートフォーカス枠（AF 枠）はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選択できます。

液晶モニターの表示	メニュー選択	説明
	AiAF	撮影状況に応じて、9つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
	中央	中央のAF枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせるのに便利です。
（任意の位置）	アクティブ（任意選択）	撮影モード：P/Tv/Av/M 任意に選択した AF 枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 （撮影）メニュー▶[AFフレーム]▶[AiAF]/[中央]/[アクティブ]

メニュー操作（p. 23）

- ［アクティブ］を選んだとき（p. 45）



- デジタルズーム使用時は、AF枠は中央1点に固定されます。
- 液晶モニター非表示時には、［アクティブ］は使用できません。
- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります（液晶モニターがついているとき）。
  - ・緑色：撮影準備完了
  - ・黄色：ピントが合いにくいとき＊

＊AF 枠が AiAF のときは表示されません。

任意の AF 枠を選択する（[アクティブ] 選択時）

1 液晶モニターをつける

2 AF枠が緑色に変わるまで何回か⊠ボタンを押す

- 撮影モードによって、⊠ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。

P	露出補正 / AF 枠
Tv	シャッタースピード / 露出補正 / AF 枠
Av	絞り数値 / 露出補正 / AF 枠
M	シャッタースピード / 絞り数値 / AF 枠

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで、設定したい位置にAF枠を移動し、⊠ボタンを押す

- ⊠ボタンを押し続けると、AF 枠がもとの位置（中央）に戻ります（同時に設定できる項目も上記のように切り換わります)。

- 測光方式が［スポット測光］のときは、AF 枠をスポット測光枠と連動させることができます（p. 51）。
- マニュアルフォーカス中 (p. 47) は、選択できません。

撮影する

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AFロック、マニュアルフォーカス）

撮影モード AUTO P Tv Av M

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。
- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

どの撮影モードでも操作できます。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダー中央または液晶モニターのAF枠に収める

2 シャッターボタンを半押しする

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

AUTO、SCNが のとき、 では操作できません。

1 液晶モニターをつける

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める

3 シャッターボタンを半押ししながら、MFボタンを押す

- MF とMFインジケーターが表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：MFボタンを押す

- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたはAFロック撮影をする場合、［AF フレーム］を［中央］にすると（p. 24）、中央の AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすいです。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。
マニュアルフォーカスは、AUTO、SCNが のとき、 では操作できません。

1 液晶モニターをつける

2 MFボタンを何回か押して、MFを表示する

MF インジケーター



- MFインジケーターが表示されます。
- （撮影）メニューの［MF拡大表示］が［入］のとき、AF 枠を中心に画像が拡大表示*されます。
  - * 、デジタルズーム時や、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。
  - *拡大表示しない設定にもできます（p. 24）。
- 撮影モードによって、 ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。

、、、 、P	露出補正 / MF
SCN、	SCNもしくは モード / 露出補正 / MF
Tv	シャッタースピード / 露出補正 / MF
Av	絞り数値 / 露出補正 / MF
M	シャッタースピード / 絞り数値 / MF

3 ◆/◆ ボタンを押して、ピントを合わせる

- MFインジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。

解除のしかた：MFボタンを押す

露出を固定して撮る（AEロック）

撮影モード P Tv Av

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AE ロックが働きません。

1 液晶モニターをつける

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししながら、ボタンを押す

- が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：◆/◆ ボタン以外のボタンを操作する

ストロボをお使いのときは FE ロック（p. 50）をお使いになれます。

シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます。

1 **撮影モードダイヤルをP、Tv、Avのいずれかにする**

2 **液晶モニターをつける**

3 **露出を固定したい被写体にピントを合わせる**

- **Tv** または **Av** モードで、［セーフティシフト］が［入］のときは、セーフティシフト機能が働きます（p. 43）。

4 **シャッターボタンを半押ししながら、ボタンを押す**

- 露出が固定され、液晶モニターに ✱ が表示されます。

5 **←/→ ボタンで希望するシャッタースピードまたは絞り数値になるまで変える**

6 **構図を決め直して撮影する**

- 撮影が終了し、設定は解除されます。

FEロックで撮る

撮影モード P Tv Av

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 液晶モニターをつける

2 ボタンを押して、（常時発光）にする

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながら、ボタンを押す

- ストロボがプリ発光し、が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：◆/◆ ボタン以外のボタンを操作する

［ストロボ自動調光］が［切］のときは、FE ロックできません (p. 62)。

測光方式を切り換える

撮影モード P Tv Av M

1 FUNC.メニュー ▶ *（測光方式）

メニュー操作 *(p. 22)*

*初期設定

- ◆/◆ ボタンで測光方式を選び、FUNC./SETボタンを押します。



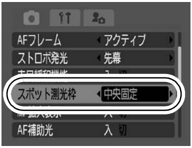
測光方式の種類

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	「スポット測光枠」内を測光します。
	中央固定	スポット測光枠を液晶モニター中央部に固定します。
	AF 枠連動	スポット測光枠を AF 枠に連動させます。

スポット測光枠をAF枠に連動させる/中央固定にする

1 **（撮影）メニュー▶［スポット測光枠］▶［中央固定］/［AF枠連動］**

メニュー操作（p. 23）



- ［中央固定］のときは液晶モニター中央にスポット測光枠が表示されます。
- ［AF 枠連動］のときは選択しているAF枠にスポット測光枠が表示されます。

- ［AF 枠連動］は AF 枠を［アクティブ］（任意選択）に設定している場合にのみ、選択できます（p. 44）。
- のときは、選択できません。

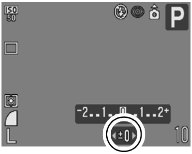
露出を補正する

撮影モード SCN P Tv Av

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。

1 液晶モニターをつける

2 露出補正バーが表示されるまで ボタンを何回か押す



- ←/→ボタンで露出を補正し、 ボタンを押します。
- 撮影モードによって、 ボタンを押すたびに、以下のように設定できる項目が切り換わります。

SCN	SCNモード / 露出補正
Tv	シャッタースピード / 露出補正
Av	絞り数値 / 露出補正

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

マイカラーが、 、 の場合、露出補正は設定できません。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影モード P Tv Av M

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー ▶ AWB *（オート）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ←/→ ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC./SETボタンを押します。



ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	水中	ウォータープルーフケース WP-DC90（別売）を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。

色効果が S BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

撮影する

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。
・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC. メニュー ▶ AWB *（オート）▶ （マニュアル）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



2 白い紙や布にカメラを向け、MENU を押す

- 液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は、画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。

- 撮影モードを**P**にし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オート / 赤目緩和オートで、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。

- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません（p. 28）。

色効果を切り換える

撮影モード（ ）P Tv Av M

色効果を切り換えると、画像の印象を変えて撮影できます。

1 FUNC.メニュー▶ OFF *（効果切）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ←/→ ボタンで色効果を選び、FUNC./SETボタンを押します。



色効果の種類

OFF	効果切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
LS	ソフト	輪郭の強調を抑える
S	セピア	セピア色にする
BW	白黒	白黒にする

マイカラーで撮る

撮影モード （ ）

マイカラーは、赤、緑、青の色のバランスを変えたり、色白や日焼けした肌にしたり、画面内の指定した色を別の色にするなど、画像の色味を簡易的に変化させて撮影できる機能です。静止画はもちろん、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前にためし撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、［オリジナル保存］機能（p. 58）を［入］にすれば、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録できます。

マイカラーの種類

P	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかに撮影できます。 ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
L	色白肌*	人物の肌を色白に撮影できます。
D	褐色肌*	人物の肌を褐色に撮影できます。
B	あざやかブルー	青色を強調して撮影できます。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
G	あざやかグリーン	緑色を強調して撮影できます。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
R	あざやかレッド	赤色を強調して撮影できます。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
A	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
S	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

[C]	カスタムカラー	赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを自由に設定して撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

*被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。
*肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC.メニュー ▶ [P]*（ポジフィルムカラー）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



- ←/→ボタンでマイカラーモードを選びます。

2 撮影する

- **[P]、[L]、[D]、[B]、[G]、[R] のとき**
  FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。
- **[A]、[S]、[C] のとき**
  それぞれの設定手順をご覧ください。
  [A]：ワンポイントカラーモードに設定する（p. 58）
  [S]：スイッチカラーモードに設定する（p. 59）
  [C]：カスタムカラーモードに設定する（p. 61）

撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

オリジナル画像の保存方法を変更する

マイカラーで静止画を撮影するときは、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 (撮影)メニュー▶[オリジナル保存]▶[入]/[切]

メニュー操作（p. 23）

- ［入］の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、マイカラーで撮影した画像が後の番号です。



［オリジナル保存］を［入］に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで撮影した画像になります。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ワンポイントカラーモードに設定する

画面内の指定した色以外を白黒で撮影します。

1 (ワンポイントカラー)▶ MENU

メニュー操作（p. 22）

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



2 液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す

- 指定できるのは1色です。
- ▲/▼ ボタンで、残したい色の範囲を変更できます。
  –5：残したい色だけを取り込みます。
  +5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

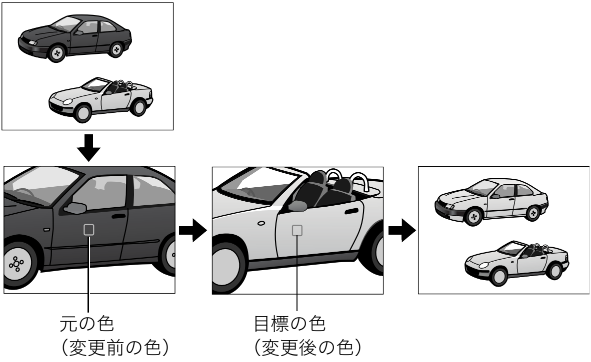
3 (FUNC. SET)

- 設定を終了します。
- このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

- 初期値は緑です。
- ストロボを発光したり、色取り込み後に、ホワイトバランスや測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードに設定する

画面内の指定した色を別の色に変えて撮影します。



1 **(スイッチカラー) ▶ MENU**

メニュー操作（p. 22）



- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

2 **液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、← ボタンを押す**

- 指定できるのは1色です。
- ↑/↓ ボタンで、変えたい色の範囲を変更できます。
  –5：変えたい色だけを取り込みます。
  +5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

3 **液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、→ ボタンを押す**

- 指定できるのは1色です。

4 **FUNC. SET**

- 設定を終了します。
- このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

- 初期値は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光したり、色取り込み後に、ホワイトバランスや測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

カスタムカラーモードに設定する

赤、緑、青、肌色の、それぞれの色のバランスを調整して撮影します。

1 **(カスタムカラー) ▶ MENU**

メニュー操作（p. 22）



2 **▲/▼ボタンで[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀/▶ボタンで色合いを調整する**

- 調整結果が表示されます。



色を選ぶ　色合いを調整する

3 **FUNC. SET**

- 設定を終了します。
- このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

ISO感度を変更する

撮影モード **P Tv Av M**

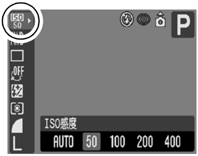
暗いところで手ぶれを抑えたり、ストロボをオフにして撮影したいとき、あるいはシャッタースピードを速くしたいときには、ISO 感度を上げます。

1 FUNC.メニュー▶ ISO50 *（ISO感度）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ←/→ ボタンでISO感度を選び、FUNC./SETボタンを押します。
- ［AUTO］を選ぶと、最適な画質になる感度に設定されます。



ストロボの自動調光設定を切り換える

撮影モード **Tv Av**

内蔵ストロボは自動調光で発光されます（**M** を除く）が、自動調光しないように設定することもできます。

1 （撮影）メニュー▶［ストロボ自動調光］▶［入］/［切］

メニュー操作（p. 23）



ストロボ調光量 / 発光量を補正する

撮影モード P Tv Av M

ストロボ調光補正	● 撮影モードが、、、、、P のとき、または Tv 、Av で［ストロボ自動調光］が［入］のとき（p. 62）、標準調光を中心に－2～＋2の範囲で 1/3 段ずつ変更できます。 ● カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
ストロボ発光量	● 撮影モードが M、または Tv 、Av で［ストロボ自動調光］が［切］のとき（p. 62）、ストロボの発光量をフル発光から 3 段階で制御して撮影できます。

1 液晶モニターをつける

2 FUNC. メニュー ▶ （ストロボ調光補正）/ （ストロボ発光量）

メニュー操作（p. 22）

● ◆/◆ ボタンで補正量/発光量を選び、FUNC./SETボタンを押します。



画面例：
ストロボ調光補正の場合

ストロボの発光するタイミングを切り換える

撮影モード P Tv Av M

先幕	シャッタースピードにかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常は、こちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。

1 （撮影）メニュー▶［ストロボ発光］▶［先幕］/［後幕］



先幕設定で撮影した画像



後幕設定で撮影した画像

Cカスタム登録する

撮影モード **P Tv Av M C**

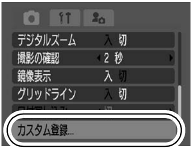
よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**(カスタム)に登録しておくことができます。必要なときにモードダイヤルを**C**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定(連続撮影、セルフタイマーなど)も保持されます。

1 登録したい撮影モードにして内容を設定する

- **C**に登録した設定の一部(撮影モード以外)を変更するときは、**C**を選びます。
- **Cに登録できる機能**
  - 撮影モード(**P**、**Tv**、**Av**、**M**)
  - **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目(p. 128)
  - 撮影メニューの設定内容
  - ズーム位置
  - マニュアルフォーカス位置

2 (撮影)メニュー▶[カスタム登録]

メニュー操作(p. 23)



3 [OK]を選び (FUNC. SET) を押す

- 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます(p. 28)。

縦横自動回転の設定をする

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

再生モード

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 (設定)メニュー ▶[縦横自動回転] ▶[入]/[切]

メニュー操作（p. 23）



- 縦横自動回転を［入］にすると、液晶モニターに(情報表示ありのとき)、(通常)、(右が下)、または(左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像番号をリセットする

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

再生モード ▶

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー ▶ [番号リセット機能] ▶ [入]/[切]

メニュー操作(p. 23)



画像番号リセット機能について

入	新しいメモリーカードを入れるたびに画像番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みのメモリーカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像の画像番号が記録され、新しいメモリーカードを入れても続きの画像番号になります。ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。

メモリーカードのフォルダ構造については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

再生 / 消去する

基本編（p. 11）もご確認ください。

拡大して見る

1 **ズームレバーを側に押す**

- が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。



表示位置の目安

2 **/ または / ボタンで表示位置を変更する**

- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、が表示されます。/ ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度FUNC./SETボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

▦ 9画像ずつまとめて見る（インデックス再生）

1 **ズームレバーを ▦ 側に押す**

- 9画像ずつ表示されます。
- ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。



9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを ▦ 側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ◀/▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- FUNC./SET ボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。



解除のしかた：ズームレバーを 🔍 側に押す

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の 4 つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する
	日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示する
	動画ジャンプ	動画を表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。



現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

2 ▲/▼ ボタンで検索キーを選び、◀/▶ ボタンを押す

解除のしかた：MENU ボタンを押す

動画を見る

> インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、(FUNC./SET) を押す

- (SET)の表示されている画像が動画です。



2 ▶(再生)を選び、(FUNC./SET) を押す

- 再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SETボタンを押すと、再度、動画再生パネルが表示されます。

動画再生パネルの操作

↩	シングル再生に戻る
🖶	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
▶	再生
I▶	スロー再生（スロー再生の速度は、◀ボタンで遅く、▶ボタンで速くできます。）
I◀◀	先頭フレームを表示
◀II	フレーム戻し(FUNC./SETボタンを押し続けると早戻しします。)
II▶	フレーム送り(FUNC./SETボタンを押し続けると早送りします。)
▶▶I	最終フレームを表示
✂	編集（動画編集モードに切り換えます。）(p. 72)

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください(p. 84)。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

編集前の長さが1秒以上の動画を1秒単位で編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が1秒未満の動画は編集できません。

1 動画再生パネルの (編集)を選び、 を押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル



動画編集バー

2 ↑/↓ボタンで (前部を削除)または (後部を削除)を選び、←/→ボタンで削除する位置( )を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、 (再生) を選んでFUNC./SETボタンを押します。
- (終了) を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 (保存)を選び、 を押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC./SET)を押す

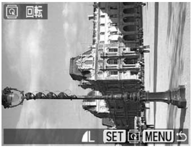


- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にFUNC./SETボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中で電池がなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、未使用の単3形アルカリ電池かフル充電の単3形ニッケル水素電池あるいは AC アダプターキット ACK600（別売）の利用をおすすめします（p. 106）。

回転して表示する

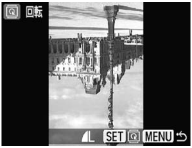
時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。



元画像



90 度



270 度

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **←/→ ボタンで回転する画像を選び、(FUNC./SET) を押して回転する**

- FUNC./SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

音声メモをつける

画像の再生中（シングル再生、インデックス再生）に、最長 60 秒の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE 形式で保存されます。

1 **▶（再生）メニュー ▶ 🎙**

メニュー操作（p. 23）



2 **◀/▶ ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC./SET を押す**

- 音声メモパネルが表示されます。

3 **●（録音）を選び、FUNC./SET を押す**

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- FUNC./SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1画像につき、合計が60秒に達するまで音声メモを追加できます。



音声メモパネルの操作

(終了)	設定を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生
(消去)	消去 表示される画面で[消去]を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

画像を自動再生する(オートプレイ)

メモリーカード内の全画像を自動再生します。再生間隔は約3秒です。

1 ▶(再生)メニュー▶ (オートプレイ)

メニュー操作(p. 23)



2 (FUNC./SET)を押す

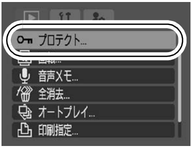
- 自動再生中は、次のことができます。
  - オートプレイの一時停止/再開:FUNC./SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻り:◆/◆ ボタンを押す(ボタンを押し続けると早く進みます。)
  - オートプレイの中止:MENUボタンを押す

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。

1 **(再生)メニュー▶**

メニュー操作 (p. 23)



2 **プロテクトしたい画像を選び、FUNC./SET を押す**

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと設定を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。



プロテクトマーク

全画像を消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **[OK]を選び、FUNC./SET を押す**

- 全消去を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。

画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください（p. 21）。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括で印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

1 ▶（再生）メニュー ▶ 🖶

メニュー操作（p. 23）



1 画像ずつ指定する

2 ［画像指定］を選び、(FUNC. SET) を押す

- ［リセット］を選ぶと、印刷指定をすべて解除します。



3 印刷する画像を選ぶ

- 印刷タイプの設定（p. 81）によって異なります。
  - スタンダード（■）/両方（■ 田）
    画像を選び、FUNC./SET ボタンを押して ▲/▼ ボタンで印刷枚数を指定します（最大99枚まで）。

印刷枚数表示



  - インデックス（田）
    画像を選び、FUNC./SETボタンで指定、指定解除を行います。

インデックス印刷の選択



- インデックス再生にしても設定できます。

メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、(FUNC./SET) を押す

- ［リセット］を選ぶと、印刷指定をすべて解除します。
- すべての画像に対して1枚ずつ印刷指定されます。



3 [OK]を選び、(FUNC./SET) を押す

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 撮影日時の古い画像から順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。
- 日付を写し込んだ画像を印刷する場合、DPOF の印刷指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複して印刷されます。

印刷スタイルを設定する

印刷する画像を選んでから、印刷スタイルを指定してください。次の内容を設定できます。

印刷タイプ	スタンダード	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付		日付を入れて印刷します。
画像番号		画像番号を入れて印刷します。

1 **(再生)メニュー▶**

メニュー操作 (p. 23)



2 **［設定］を選び、を押す**



3 ［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- （L 判印刷）で日付を写し込んだ画像（p. 34）は、［日付］が［切］でも、写し込んだ日付が印刷されます。
- 日付は、［日付 / 時刻］で設定した日付スタイルで印刷されます（p. 26、基本編 p. 4）。

DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、▲が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p. 23）



1 画像ずつ指定する

2 [画像指定]を選び、を押す

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 送信する画像を選び、を押す

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。



メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、を押す

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 [OK]を選び、を押す

- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

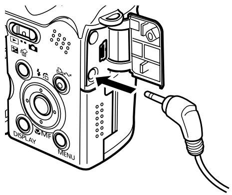
テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力形式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

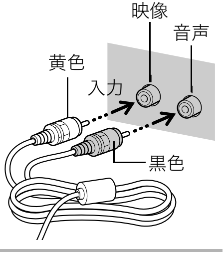
1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

- 端子カバーの左端に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで押し込みます。



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する



4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる

ビデオ出力形式の設定方法（p. 26）

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 （マイカメラ）メニュー▶メニュー項目

メニュー操作（p. 23）



2 設定したいコンテンツを選ぶ

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、［セット］を選びます。



マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［2］［3］には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 モードスイッチ（再生）▶（マイカメラ）メニュー▶登録したいメニュー項目

メニュー操作（p. 23）



2 または を選び、DISPLAY を押す



3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

- **起動画面**
  登録したい画像を選んで、FUNC./SETボタンを押します。



- **起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音**
  （録音）を選び、FUNC./SET ボタンを押します。録音後、（登録）を選び、FUNC./SETボタンを押します。
  - 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
  - 再生するときは、（再生）を選びます。
  - マイカメラメニューに戻るときは、（終了）を選びます。



4 [OK]を選び、(FUNC/SET) を押す

- 登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。



- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能（p. 75）で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください(基本編 p. 5)。
メモリーカードスロットカバー/バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロットカバー/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください(基本編 p. 1)。
電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください（基本編 p. 1)。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください（基本編 p. 1)。
電池の電圧が足りません(「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます)。	●未使用の電池または、十分に充電された充電池に4本とも交換してください（基本編 p. 1)。 ●AC アダプターキット ACK600(別売）を使用してください(p. 106)。
カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●電池を数回入れ直してください。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された

SDメモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	● 書き込み、消去、初期化したいときは、スイッチを上にスライドしてください（p. 102）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された

内蔵のリチウム充電池の容量がなくなっています。	● ただちに充電してください（基本編 p. 4）。

液晶モニター

表示が黒くなる

太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● 故障ではありませんので、撮影した画像には影響ありません。

画面がちらつく

蛍光灯の下で撮影しています。	● カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が縦に表示された

被写体が極端に明るすぎます。	● これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	● ISO 感度を上げるか（p. 62）、ストロボを（発光禁止）以外に設定するか、または、三脚などでカメラを固定してください（p. 17）。

⚠が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定または送信指定されたメモリーカードです。	● このカメラでそれらの印刷指定または送信指定を変更すると、設定内容はすべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 79）。

液晶モニターにノイズが表示される / 液晶モニターに表示される被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p. 15）。	● 記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
モードスイッチを ▶（再生）に合わせています。	● モードスイッチを 📷（撮影）にしてください（基本編 p. 5）。
ストロボが充電中です。	● 充電が完了するとランプが橙色に点灯します。シャッターボタンを押してください（p. 20）。
メモリーカードの空き容量がありません。	● 新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p. 1）。 ● 必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	● メモリーカードを初期化してください（p. 21）。 ● メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。

SDメモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。	●SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 102)。
液晶モニターを閉じています。	● 、、のときは、液晶モニターを開いて撮影してください。
ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある	
通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください（p. 15)。
画像がぼやけている、ピントが合いにくい	
AF補助光が［切］になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF補助光が光ってピントを合いやすくします。AF補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF補助光を発光させてください（p. 24)。このとき、AF補助光投光部に手がかからないように注意してください。
シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●セルフタイマーを（2秒タイマー）に設定すると、シャッターボタンを押した2秒後に撮影されるので、カメラのブレを防ぐことができます（p. 35)。また、カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用しても、ブレのない画像を撮影できます。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください(p. 113)。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください（p. 46)。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを（常時発光）にしてください（基本編 p. 9）。
被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 52）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 48、51）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 114）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 62）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボの撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 114）。
被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 52）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 48、51）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p. 9）。

画像が白飛びする、画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。	●ISO 感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください（p. 62）。 ● **SCN** モードの、、、では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側や、絞り優先AEで絞り数値を大きくして撮影したときに、目立ちやすくなります。	● デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。	● (赤目緩和)で撮影してください（基本編 p. 9）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。 ●「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約1秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	● 連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを初期化することをおすすめします（p. 21）。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 21）。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロットカバー/バッテリーカバーを開けました。	● メモリーカードスロットカバー / バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください（基本編 p. 1）。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される	
以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	● 撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p. 21）。
液晶モニターに「！」が頻繁に表示される	
カメラの内部メモリーが少なくなると、「！」が赤表示され、まもなく撮影が自動的に終了します。	● 以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを初期化する（p. 21） - 記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる（p. 30） - 高速のメモリーカード（SDC-512MSH など）を使用する
ズームできない	
動画撮影中にズームレバーを押しました。	● 撮影前にズームを操作をしてから、動画を撮影してください（基本編 p. 8）。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属のZoomBrowser EXやImage Browser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください（詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください）。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

高い記録画素数と速いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリー カードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ出力方式を PAL 方式に設定し、（スムーズ動画）で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	●オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い	
違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 21）。

電池

電池の消耗が早い	
不適切な電池が入っています。	● 未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください（基本編 p. 1）。
周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	● 温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
電池の電極が汚れています。	● 電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。 ● 電池を数回入れ直してください。
キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をお使いの場合	
1年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	● フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
充電池の寿命です。	● 4本ともすべて未使用の充電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない	
お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	● 正しいビデオ出力形式（NTSC または PAL）に合わせてください（p. 26）。日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	● スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（基本編 p. 6）。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中...

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。再生モードを起動中です。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。

ライトプロテクト

SD メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常があります。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定や音声メモができません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［番号のリセット機能］を［入］に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに4本とも未使用の単3形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単3形ニッケル水素電池に交換してください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像を再生しようとしました。

データが壊れています

データが破壊されている画像を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

特殊なタイプ（他社カメラ特有の記録タイプなど）で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声メモのタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定の画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定を保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

Exx

カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

▭/電源ランプが緑色に点滅 電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。	バッテリーを交換してください 電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

- **このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）です。**

  単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。

- **アルカリ電池は、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。**

  アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。

- **低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池（別売）のご使用をおすすめします。**

  アルカリ電池は低温下では使用可能時間が短くなります。またニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。

- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**

  古い電池が液漏れを起こすことがあります。

- **電極（⊕と⊖）を逆にして入れないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- **電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてください。**

  電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

●低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン( )が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

電池がショートするおそれがあります。

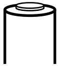
●長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。

電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

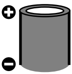
⚠ 警告

外装シールが（一部または全体に関わりなく）剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

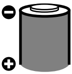
以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池（裸電池）



プラス電極が平らな電池

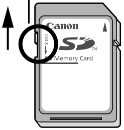


マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

メモリーカードの取り扱い

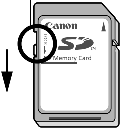
SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて

ライトプロテクトスイッチ



スイッチを上にスライドする。

書き込み・消去可能



スイッチを下にスライドする(カード内の画像などを保護できます)。

書き込み・消去不可

取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**

  電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

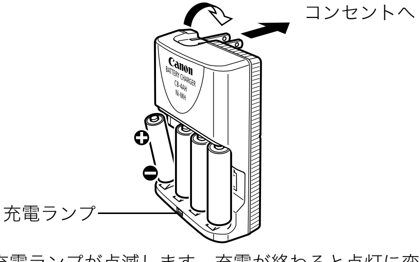
・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

電源キット（別売）の使いかた

充電式バッテリーを使う（バッテリー / チャージャーキット CBK4-200）

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。



充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- このバッテリーチャージャーでは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池 NB-2AH 以外の電池を充電しないでください。また、NB-2AH を他の充電器で充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニターに表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを 2 〜 3 回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1 年程度）保管する場合は、カメラで電池を使い切ってから、湿度の低い、室温（0 〜 30 ℃）で保管してください。フル充電の状態で長期間保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。

  また1年以上使用しないときは、年に 1 度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をご購入ください。

- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して、乾燥した冷暗所に保管してください。

- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約4時間 10 分です（当社測定基準による）。また、0 ～ 35 ℃の環境で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー / チャージャーキットCBK100もお使いになれます。バッテリー / チャージャーキット CBK100 では、キヤノン製の単３形ニッケル水素電池NB-1AHを充電してください。

Ni-MH

・この製品には充電式のニッケル水素電池を使用しています。
・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

・ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記の「キヤノン / キヤノン販売」のホームページで確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
-「有限責任中間法人 ＪＲＢＣ」および「キヤノン / キヤノン販売」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノン / キヤノン販売　ホームページ
http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

リサイクル時のご注意

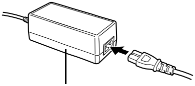
・電池を分解しないでください。

AC アダプターキット ACK600 を使う

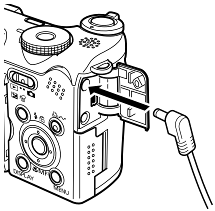
カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK600（別売）のご利用をおすすめします。

カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**



2 **端子カバーを開き、DC端子を接続する**



レンズ（別売）の使いかた

別売のワイドコンバーター WC-DC58N、テレコンバーター TC-DC58N を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC58F が必要です。

- ワイドコンバーター / テレコンバーターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター / テレコンバーターは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。光学ファインダーをのぞくと失明の恐れがあります。

- ストロボを使用すると、画像の周辺部（特に画面右下）が暗くなります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け（ケラレ）ることがあります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け（ケラレ）て見えます。液晶モニターをお使いください。

■ワイドコンバーター WC-DC58N

広角撮影するためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 0.7 倍になります（ねじ径 58mm）。

■テレコンバーター TC-DC58N

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 1.75 倍になります（ねじ径 58mm）。

ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

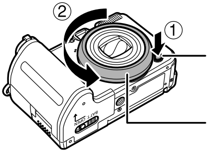
■コンバージョンレンズアダプター LA-DC58F

ワイドコンバーター やテレコンバーターを取り付けるためのレンズアダプターです（ねじ径 58mm）。

レンズを取り付ける

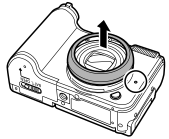
1 電源が切れていることを確認する

2 リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回す

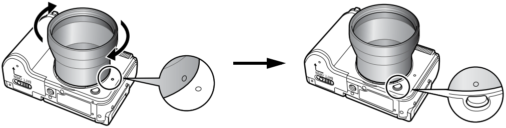


付録

3 カメラの○とリングの▯が合ったら、リングを上に引き上げて外す



4 コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの○印に合わせてから、⌒印のところまで矢印の方向に回して取り付ける



- コンバージョンレンズアダプターを取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら、反対方向に回します。

5 レンズを矢印の方向に回して確実に取り付ける

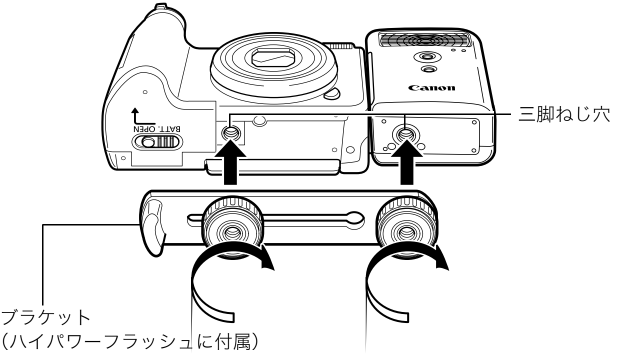


- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- レンズを取り付けて□で撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフトウェア「PhotoStitch」で正しく合成できません。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



- 撮影モードが**M**のとき、ハイパワーフラッシュは発光しません。
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

■電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地（0℃以下）でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれます。ご使用の際は、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 26）。

電源について

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。

付録

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A620/A610

カメラ部有効画素数	：PowerShot A620：約 710 万画素 PowerShot A610：約 500 万画素
撮像素子	：PowerShot A620：1/1.8 型 CCD（総画素数約 740 万画素） PowerShot A610：1/1.8 型 CCD（総画素数約 530 万画素）
レンズ	：7.3（W）－ 29.2（T）mm (35mm フィルム換算 35（W）－ 140（T）mm) F2.8（W）－ F4.1（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 16 倍のズームが可能）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：2.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 11.5 万画素
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠：9 点（AiAF）/ 1 点（AF） （1 点時の測距枠：任意設定可能）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：45cm ～∞ マクロ撮影：1 ～ 45cm（W）/25 ～ 45cm（T） マニュアルフォーカス撮影：1cm ～∞（W）/ 25cm ～∞（T）
シャッター	：メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2500 秒 ・撮影モードによって異なる ・1.3秒以上のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価 / 中央部重点平均 / スポット (中央固定 / AF 枠連動)
露出補正	：±2段（1/3段ステップ）、セーフティシフト可能

（W）：ワイド端（T）：テレ端

ISO 感度	：オート＊、ISO 50 / 100 / 200 / 400 相当 ＊オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：TTL オート / プリセット（太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / 水中）/ マニュアル
内蔵ストロボ	：オート＊ / 常時発光＊ / 発光禁止 ＊赤目緩和設定可能 FE ロック / スローシンクロ / 後幕シンクロ / 発光量設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影:45cm～4.2m（W）/45cm～3.0m（T） マクロ撮影：25cm ～ 45cm（W/T） （ISO 感度設定：オート）
ストロボ調光補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
撮影モード	：オート クリエイティブゾーン： プログラム / シャッタースピード優先 / 絞り優先 / マニュアル / カスタム イメージゾーン： ポートレート / 風景 / 夜景 / スペシャルシーン＊ / マイカラー / スティッチアシスト / 動画＊＊ ＊ ナイトスナップ、キッズ＆ペット、パーティー・室内、新緑・紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水中 ＊＊ スタンダード、スムーズ、ライト、マイカラー
連続撮影	：PowerShot A620：約 1.9 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき） PowerShot A610：約 2.4 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
パソコン接続撮影	：USB 接続時、付属のソフトウェアで撮影可能（PowerShot A620 のみ）
記録媒体	：SD メモリーカード / マルチメディアカード ・本機では、2GB までのメモリーカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
ファイルフォーマット	：DCF 準拠＊1、DPOF 対応
データタイプ （静止画）	：Exif 2.2（JPEG）＊2
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE（モノラル））

（W)：ワイド端（T)：テレ端

圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：PowerShot A620： ラージ　：　3072 × 2304 画素 ミドル 1　：　2592 × 1944 画素 ミドル 2　：　2048 × 1536 画素 ミドル 3　：　1600 × 1200 画素 スモール　：　640 × 480 画素 L 判印刷　：　1600 × 1200 画素 PowerShot A610： ラージ　：　2592 × 1944 画素 ミドル 1　：　2048 × 1536 画素 ミドル 2　：　1600 × 1200 画素 スモール　：　640 × 480 画素 L 判印刷　：　1600 × 1200 画素
（動画）	：スタンダード、マイカラー :640×480画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) :320×240画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊（1 回の最大記録容量：1GB） スムーズ:320 × 240 画素 (60 フレーム / 秒) 1 回の最長記録時間：1 分 ライト：160 × 120 画素　(15 フレーム / 秒) 1 回の最長記録時間：3 分 ＊超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH）
再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ ジャンプ（10 枚ごと、100 枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画にジャンプが可能。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ オートプレイ / 音声メモ（最長 60 秒まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）
ダイレクトプリント	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音

インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B）、PTP［Picture Transfer Protocol］ 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
電源	：単 3 形アルカリ電池（付属） 単 3 形充電式ニッケル水素電池（別売）（NB4-200）AC アダプターキット ACK600（別売）
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ	：104.8 × 66.0 × 49.1mm （突起部を除く）
質量（本体のみ）	：約 235g

＊[1] DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

＊[2] このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時(CIPA 測定法準拠)	液晶モニター非表示時	
単3形アルカリ電池(付属品)	約 350 画像	約 1200 画像	約 16 時間 40 分
単3形ニッケル水素電池(NB-2AH(フル充電))	約 500 画像	約 1500 画像	約 16 時間 40 分

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温(23 ± 2 ℃)・常湿(50 ± 20%)で、2回に1回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのメモリーカードを使用

*電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温(23 ± 2 ℃)・常湿(50 ± 20%)の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

電池の取り扱いについて(p. 100)

メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)

■PowerShot A620

□: 付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	SDC-32M	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 3072 × 2304 画素		9	40	156＊
		15	64	251
		31	134	520
M1 (ミドル 1) 2592 × 1944 画素		11	49	190
		20	87	339
		40	173	671
M2 (ミドル 2) 2048 × 1536 画素		17	76	295
		32	136	529
		63	269	1041
M3 (ミドル 3) 1600 × 1200 画素		28	121	471
		51	217	839
		97	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素		109	460	1777
		168	711	2747
		265	1118	4317
(L 判印刷) 1600 × 1200 画素		51	217	839

- ・ スムーズ連写（p. 32）できます（＊：物理フォーマットした場合に可能）。
- ・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

■PowerShot A610

□: 付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	SDC-16M	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 2592 × 1944 画素	S	5	49	190
	F	9	87	339
	N	19	173	671
M1 (ミドル 1) 2048 × 1536 画素	S	8	76	295
	F	15	136	529
	N	30	269	1041
M2 (ミドル 2) 1600 × 1200 画素	S	13	121	471
	F	24	217	839
	N	46	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素	S	52	460	1777
	F	80	711	2747
	N	127	1118	4317
(L 判印刷) 1600 × 1200 画素	F	24	217	839

・　　スムーズ連写できます（p. 32）。

・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

動画

	記録画素数	フレームレート	SDC-16M	SDC-32M	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640 640×480画素	30	6 秒	14 秒	1 分 4 秒	4 分 9 秒
		15	14 秒	30 秒	2 分 7 秒	8 分 14 秒
マイカラー	320 320×240画素	30	20 秒	42 秒	3 分 1 秒	11 分 42 秒
		15	40 秒	1 分 24 秒	5 分 55 秒	22 分 53 秒
スムーズ	320 320×240画素	60	10 秒	21 秒	1 分 32 秒	5 分 59 秒
ライト	160 160×120画素	15	1 分 39 秒	3 分 26 秒	14 分 29 秒	55 分 57 秒

*動画の 1 回の最長記録時間は、スムーズ：1 分、ライト：3 分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

1 画像の容量（目安）

記録画素数		圧縮率 S	圧縮率 F	圧縮率 N
L	PowerShot A620 3072 × 2304 画素	3045KB	1897KB	902KB
	PowerShot A610 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M1	PowerShot A620 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
	PowerShot A610 2048 × 1536 画素	1062KB	893KB	445KB
M2	PowerShot A620 2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
	PowerShot A610 1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
M3	PowerShot A620 1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
ポストカード	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード	640 × 480 画素	30	1980KB/ 秒
		15	990KB/ 秒
マイカラー	320 × 240 画素	30	660KB/ 秒
		15	330KB/ 秒
スムーズ	320 × 240 画素	60	1320KB/ 秒
ライト	160 × 120 画素	15	120KB/ 秒

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2 g

ニッケル水素電池 NB-2AH

（別売のニッケル水素電池パック NB4-200 またはバッテリー / チャージャーキット CBK4-200 に付属）

形式	単 3 形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	2300mAh（最小：2150mAh）
充放電回数	約 300 回（目安）
動作温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	直径：14.5mm 長さ：50mm
質量	約 29g

バッテリーチャージャー CB-4AH

（別売のバッテリー / チャージャーキット CBK4-200 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）16 ～ 21VA
定格出力	565mA
充電時間	約 4 時間 10 分
動作温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量（本体のみ）	約 95 g

コンパクトパワーアダプター CA-PS500

（別売の AC アダプターキット ACK600 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 16VA（100V）～ 26VA（240V）
定格出力	DC4.3V/1.5A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	42.6 × 104.4 × 31.4mm
質量	約 180g（電源ケーブルを除く）

ワイドコンバーター WC-DC58N（別売）

倍率	0.7 倍（35mm フィルム換算で 25mm 相当＜ワイド端＞）
撮影距離（レンズ先端より）	20cm 〜∞（ワイド端）＊[1]
ねじ径	58mm 標準フィルターネジ＊[2]
大きさ	直径：94.5mm　長さ：54.9mm
質量	約 275g

テレコンバーター TC-DC58N（別売）

倍率	1.75 倍（35mm フィルム換算で 245mm 相当＜テレ端＞）
撮影距離（レンズ先端より）	1.4m 〜∞（テレ端）＊[1]
ねじ径	58mm 標準フィルターネジ＊[2]
大きさ	直径：75mm　長さ：50mm
質量	約 185g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC58F（別売）

ねじ径	58mm 標準フィルターネジ
大きさ	直径：62mm　長さ：46.1mm
質量	約 17g

＊[1] PowerShot A620/A610 装着時

＊[2] PowerShot A620/A610 に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC58F が必要

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- **バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス**
- **オンラインアルバムサービス**
- **携帯電話アルバム通知・閲覧サービス**
- **ホームプリンティングサービス**
- **プリント注文サービス（有料）**
- **オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）**
- **マイカメラコンテンツのダウンロード**

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

*インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。

*プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。
Cのときは、登録時に設定した内容で撮影できます（p. 65）。

			AUTO				SCN[1]				P	Tv	Av	M	参照先
記録画素数	ラージ	L	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	p. 29、31
	ミドル1	M1	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	ミドル2	M2	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	ミドル3 (PowerShot A620のみ)	M2	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	スモール	S	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	L判印刷		○	○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	
	動画	640 320 160	–	–	–	–	–	–	–	○[2]	–	–	–	–	
圧縮率	スーパーファイン	S	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	p. 30
	ファイン		○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	
	ノーマル		○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
フレームレート			–	–	–	–	–	–	–	○[2]	–	–	–	–	p. 31
ストロボ	オート		○*	○*	○	○*	[4]	○*[3]	–	–	○	–	–	–	基本編 p. 8
	常時発光		–	○	○	○		○	△	–	○	○	○	○	
	発光禁止		○	○	○*	○		○	△*	–	○*	○*	○*	○*	
赤目緩和			○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	基本編 p. 8
AF補助光			○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 24
スローシンクロ		入	–	–	○	○	[5]	○	△	–	○	–	○	–	p. 24
		切	○	○	–	–		○*	○*	–	○*	○	○*	○	
ストロボ自動調光		入	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○*	○*	–	p. 62
		切	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	
ストロボ調光補正			–	○	○	○	–	○	△	–	○	○	○	–	p. 63
ストロボ発光量設定			–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	p. 63
ストロボ発光	先幕		○	○	○	○	○	○*	○	–	○*	○*	○*	○*	p. 64
	後幕		–	–	–	–	–	○	–	–	○	○	○	○	
撮影方法	シングル撮影		○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	○*	○*	○*	○*	○*	–
	連続撮影		–	○	○	○	○	–	–	–	○	○	○	○	p. 32
	10秒、2秒セルフタイマー		○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 35
	カスタムセルフタイマー		○	○	○	○	○	–	–	–	○	○	○	○	p. 35
AF枠の選択[6]	AiAF		○*	○*	○*	○*	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	p. 44
	中央		–	○	○	○	○*	○	–	–	○	○	○	○	
	アクティブ		–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	p. 45
AFロック		MF	–	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	p. 46
マニュアルフォーカス		MF	–	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	p. 47
マクロ撮影			○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	基本編 p. 9

			AUTO				SCN[1]				P	Tv	Av	M	参照先
デジタルズーム		入	○	○	○	○	○	－	－	7)	○	○	○	○	p. 31
		切	○*	○*	○*	○*	○*	○	－		○*	○*	○*	○*	
セーフティシフト			－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	p. 43
露出補正			－	○	○	○	○	○[8]	△	－	○	○	○	－	p. 52
測光方式	評価測光		－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	○*	－[9]	－[9]	○*	○*	○*	○*	p. 50
	中央部重点平均測光		－	－	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○	
	スポット測光		－	－	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○	
AEロック/FEロック撮影			－	－	－	－	－	○	－	－	○	○	○	－	p. 48、50
ホワイトバランス[10]			－[11]	○	○	○	－[9]	○	△	○	○	○	○	○	p. 53
色効果			－	○	○	○	－[10]	－	△	○[12]	○	○	○	○	p. 55
ISO感度			－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	－[9]	○	○	○	○[13]	p. 62
鏡像表示			○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	p. 24
縦横自動回転		入	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	－	○*	○*	○*	○*	p. 66
		切	○	○	○	○	○	○	△	－	○	○	○	○	
日付写し込み			○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	p. 34
グリッドライン			○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	p. 25

＊: 初期設定　○：設定可　△：最初の 1 画像のみ設定可

・　　：電源を切っても解除されません。

・[日付 / 時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式] 以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます（p. 28）。

1) では、以下の設定はできません。
- ストロボの［オート］、［常時発光］
- 赤目緩和機能
- AF 補助光
- AF フレームの選択
- マクロ
- AF ロック
- マニュアルフォーカス

では、以下の設定はできません。
- マクロ
- AF フレームの選択

2) （動画）の記録画素数、フレームレートは下記のとおりです。

記録画素数	640	○*	－	－
	320	○	○	－
	160	－	－	○
フレームレート	60	－	○	－
	30	○*	－	－
	15	○	－	○

3) では、ストロボの初期設定は［発光禁止］になります。

4) ストロボの初期設定は、:オート（赤目緩和）、:発光禁止になります。

5) では［入］に、それ以外では［切］に固定設定されます。

6) デジタルズームの使用中は［中央］に設定されます。

7) 初期設定は では［入］、 では［切］になります。また、のときは撮影中も操作ができます。

8) では、露出補正はできません。

9) カメラが自動的に設定します。

10)色効果が 、 の場合は設定できません。

11)ホワイトバランスは［オート］に設定されます。

12) では、色効果は設定できません。

13)ISO［AUTO］は設定できません。